

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 4月 15日

事業所名

きらめき古堅南

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		祝日や長期休みで放課後ディの利用者と重なる場合は、利用日時の調整を前もって行っている。	事業所が広いので、指導訓練室以外のスペースも上手く用いて、プログラムの内容を充実できるよう努める。
	2	職員の配置数は適切である	3	2	基準に沿い適切に配置している。	余裕ある人員配置ができるよう努めていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	建物の構造上難しい事もあるが、安全な空間づくりに努めている。	障がいの特性に応じた十分な環境、設備であるかを常に話し合いながら模索していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		活動内容に合わせた部屋の使い方を工夫している。	玩具や物が雑然としないよう、利用者の支援に相応しい配置が出来る用工夫に努める。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	日々の申し送りや事業所会議にて改善点などを確認している。	事業所会議、または日々の申し送りや申し送り帳を通して職員全体に周知徹底する。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2	貴重なご意見を参考に改善に繋げている。	意見箱を設置し、保護者からの意見を伺い速やかに対応できるように心がける。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	2	今年から公開していく。	結果を踏まえ、事業所会議を行い業務改善に努めている。HPにて公開予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	違う部署の職員に評価をして貰っている。	第三者による外部評価は行っていない。まずは、保護者からのご意見を参考に改善を図る。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	社内の共通研修受講や、事業所内での勉強会を行っている。	ティーチャーズトレーニング・性教育研修などを実施予定。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		普段から保護者との情報交換を心がけて必要な支援が行えるようにしている。	モニタリング内容をまとめて職員で共有し、支援会議にてチームの意見をもとに計画書を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	決められたアセスメントシートで毎年確認している。	標準化されたツールがあるのかわからないとの声があり、職員間での情報共有に不足があるため、支援会議を通して活用を図る
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		適正に支援内容が設定されている	必要な支援内容を盛り込む計画書を立てています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		定期的にケース会議を行い、計画書をもとに支援の方向性を確認している。	今後も支援会議を行い、情報共有したうえで個別支援計画を作成実践していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	ことば音楽療法士を中心に立案を行っている。	児童の特性、要望、新しい試み等、支援会議で今まで以上に深く話し合っ形にしていきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		児童の成長に応じて新しいプログラムを加えている。	児童の特性、要望、新しい試み等、支援会議で今まで以上に深く話し合っ形にしていきたい。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		児童の現状と成長段階に合わせた内容を計画している。	集団活動がメインになっているので、個別活動実践に力を入れていきたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	4	1	朝の朝礼で一日の予定を確認役割分担を行っている。	役割分担は事前に行なっているが、想定外な児童動きに臨機応変に対応できるよう、十分な対応を心がける。
	18	1	4	・終礼が行えていないので、翌日の朝礼、昼礼で前日の振り返りを行っている。	送迎で職員がそろわないため現時点では終礼を行っていないが、翌日朝礼では前日の申し送り振り返り等行っている。内容に応じて話し合いが持てるようにしていく。
	19	5		毎日の支援の記録を取ることを徹底しており、必要に応じて話し合いが持たれている。	課題がある場合は話し合いをもとに新しい支援方法を提案できるようにしていきたい。
	20	5		相談員とのモニタリング時期に合わせて事業所モニタリングを行っている。	積極的に児童に接し児童の小さな変化や成長にすぐ気づくことが出来るように備えておく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	5		参加している。	児童発達管理責任者もしくは児発管研修を受けた職員が参加している。
	22	3	2	相談員を通じて行っている。	相談員を通じて関係機関と連携している利用者もいるが、全員ではない。
	23		1	該当者なし。	該当者なし。
	24		1	該当者なし。	該当者なし。
	25	4	1	保育園、幼稚園を併用利用している利用者様に関しては、モニタリングで情報共有を行っている。	保育園、幼稚園にこれから進む児童の保護者に対し、質問等答えられる範囲でアドバイスをしている。
	26	2	2	小学校に上がるタイミングのモニタリングで情報共有を行っている。	今後小学校に進学する児童の移行支援として、進学先との情報共有等関わっていききたい。
	27	2	1	きらめき北谷さんと情報共有をして、支援の助言を受けている。	読谷村の子ども部会に参加できるようになったので、今後連携して活動を行っていききたい。
	28		4	・今後は交流していく予定。	コロナ等の感染予防対策により、交流を控えてまいりました。今後は状況を見ながら可能であれば交流を始めていきたく考えています。
	29	1	3	・可能な限り参加している。	情報を頂いているので、可能な限り参加できるよう努めていきます。
	30	4		公式ラインを用いて家庭との連絡調整や日々の活動の様子を写真等も加えながら発信しています。	保護者同伴型の利用をしていただいているので、保護者との連携にさらに力を入れていきたい。
31	2	2	保護者同伴型の利用をしていただいているので、困りごとの聞き取りやアドバイスなど行っています。	ペアレントトレーニング等開催情報を保護者に発信していく予定。	
32	4		契約時に一緒に読み合わせし、疑問があればその場で答えられるようにしている。	難しい言葉や分かりにくい内容に対しては、分かりやすく説明できるよう心がけている。	
33	5		児童発達支援ガイドラインの支援内容と計画に基づいてサービスを提供している。	児童発達支援ガイドラインの支援内容と計画に基づいてサービスを提供している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	利用時の保護者との会話から悩み相談や質問があることも多いので、答えられる限り対応している。	情報不足で対応できないことや難しい相談などもあるので、相応しい関係機関に繋がられるにしていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	利用者ご家族が自然な形で親しくなられてきています。	父母の会はまだ存在していないので、保護者同志が交流しやすい場所づくり工夫し、提供できる用にしていきたいと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		迅速に対応できるように、LINEや連絡帳の活用を行っている。	相談等あれば速やかに対応できるよう心掛けている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		公式ラインを用いて家庭との連絡調整や日々の活動の様子を写真等も加えながら発信しています。	毎月行事予定表を配布している。連絡用公式LINEや送迎時での保護者との会話の中でこまめに報告していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人情報など重要書類は、鍵付きキャビネットの中に保管している。	鍵付きキャビネット以外にも、PCなど機器類のパスワード設定にも工夫している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		絵カードなど視覚的アプローチ等工夫をしている。	児童の特性に応じたツールをさらに開拓していきたい。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	隣接している介護事業所と昨年秋に交流会を開催しました。	コロナもおちついてきたので、今後地域の方々に関わっていけるよう準備しています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	3	職員は救急法、感染症に関する研修を受講しています。	二月に不審者対応の避難訓練を行いました。今後も定期的に緊急時を想定した訓練を実施していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	3	定期的な避難訓練を行っている。	二月に不審者対応の避難訓練を行いました。今後も定期的に緊急時を想定した訓練を実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	その都度保護者と確認している。	契約時や病院受診後などに保護者に状況を確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	該当児なし	現時点でアレルギー対応の利用者はおりませんが、今後対象者が出た場合はふさわしい対応が出来るように努めていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	事例集を作成し、今後の対策を話し合っている。	ヒヤリハット発生時にすぐ事業所内で情報共有をするようにしている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		職員研修に組み込まれている	どのような行動が虐待に繋がる恐れがあるのか、定期的に職員間で事例検討を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		身体拘束なし 該当児なし	身体拘束に繋がる行動について、職員間で勉強会や事例検討を行っている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。